

令和3年9月議会

予算決算委員会 教育福祉分科会 補足資料【中央図書館】

決算書 343 p 新型コロナウイルス感染症対策図書館システム I C 導入作業委託
金額：54,890,000 円

令和2年度の6月議会第6号補正にて要求した「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用し、I Cシステムを導入した。

1 作業内容

(1) I C機器（1台あたりの金額）合計 約2,607万円（税込）

<内訳>

自動貸出機3台（約280万円）、自動返却機1台（約120万円）、盗難防止ゲート2台（約320万円）、蔵書点検用の読み取り機2台（約40万円）、I Cチップ読み取り機11台（約30万円）、設置費等（約70万円）など。

(2) I Cチップ作業費 合計 約2,882万円（税込）※R2年度単年度経費

<内訳>

図書：単価106円×約240,000冊＝約2,500万円

視聴覚資料：単価390円×約3,000件＝約120万円

(1)+(2)=5,489万円（税込）

契約先：京セラコミュニケーションシステム(株) 随意契約

(3) 作業内容

所蔵資料（図書、雑誌、紙芝居、視聴覚資料等）にI Cチップを貼付し、I Cチップ対応の図書館システムに更新した。

(4) I Cチップ導入スケジュール

ア 令和2年9月 I Cチップ貼付開始

イ 令和3年2月 I Cチップ貼付終了、ハード機器設定開始

ウ 令和3年3月26日 試行開始（4/1本稼働）

2 導入効果

(1) 待ち時間の短縮

自動貸出機により、貸出手続きは1人あたり数分程度短くなった。

(2) プライバシーの配慮

(3) 不明本対策

(4) 蔵書点検期間の短縮（3日減）